

A-18
成人向け

好きだから♡



R-18
成人向け



レンくん

データを間違えて
消しちゃったのは
しょうがないよ

マスターも
凄く怒ってたけど
許してくれたじゃない

だってミク姉…

ミク

ぐす

マスターが
初めて作ってくれた
俺とミク姉の
デュエット曲のデータ
だったんだぜ!?

こんなの
自分が
馬鹿すぎるだろッ!

ひっ

へす

?:

そうだね
二人で楽しみに
してたんだもんね

よし
わーん

マスターに直接
聴かせてもらえば
よかったー!

うん

レンくん
どうすれば
元気になって
くれる?!

くっく



いっよー!

私がレンくんを
いっぱい慰めて
あげるね!

ミク姉
もつと俺を
慰めてええ

!!

!!

ミク姉...

ミク姉...え...

ハア

ハア

ハア

ドキ

ドキ

慰めるって別にこういう
意味じゃなくて.....

でも身体は
正直だよ?

うう...

こういう時は
スッキリして
一度リセット
したほうがいいよ！

そうかなあ…

大丈夫！
私に全部まかせて！

あうッ

ミク姉ッ…！

ムムッ

ムムッ

ムムッ

ふあッ

ミク姉と
こんなことするなんて
久しぶりだから…

すぐにでも
イッちゃいそう…！

すごい
トロトロ溢れて
くるよ…

あッ

リキユ

リキユ

トロ







もう出るッ

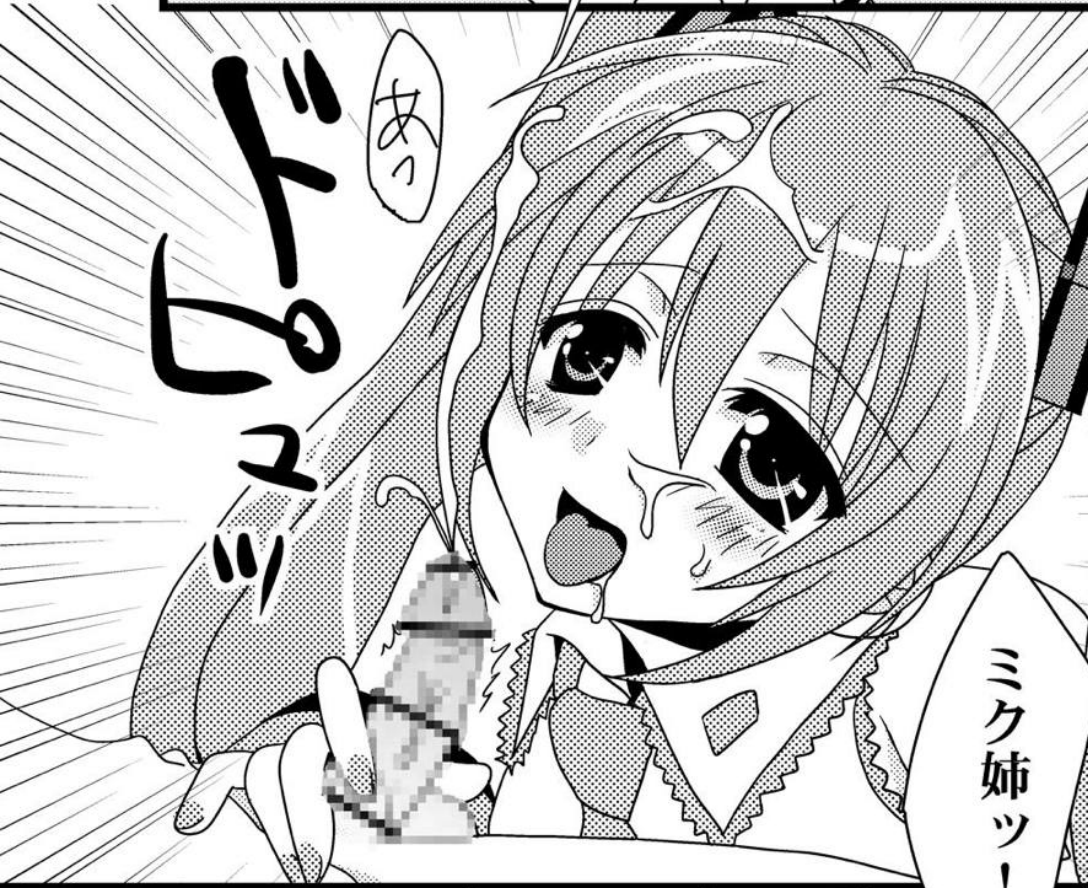
駄目だッ



（ハッ）

（セッ）

（ハッ）



ド
ド
ド

（ハッ）

ミク姉ッ！



（ハッ）

（ハッ）

え？

ハッ
ハッ
ハッ

本当にありがとう
もう出ない…

ミミク姉…

レンくんッ

ムヒッ
ムヒッ

まだまだイケるよねっ？

フッ



えっ？

ってミク姉ッ
いつの間に服を…ッ

ムヒッ

私もレンくんと
一緒に気持ち良
くなりたいもん！

フッ





でも俺ミク姉を
満足させられる
自信が無くて…ッ

大丈夫っ

私に任せてって
言ったでしょ？

ミク姉様

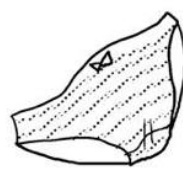
ヒキ
ヒキ

ハア
ハア

ムク
ムク

レンくん
ここからが
本番だよッ！

ええッ!?!
本番!?!



ほーいっ



えいっ

かほーっ

わっ



俺のがミク姉の
中に...ッ!

レンくんが...

レンくんが中に
入ってくる...

ヌ
プ
ッ

あ
あ
あ

ハア

ハア

ミク姉ッ

レンくんッ

チ
ュ
ッ

チ
ュ
ッ

チ
ュ
ッ

チ
ュ
ッ



ミク姉え…ツ

すげえ気持ち良いツ

レンくんツ

レンくん
上手だよお

あッ

あッ

またいきそう
だけど
まだ我慢ツ！

ミク姉が
イクまでは
…ツ！



ビクビク

アハハ

ニヤッ

ハア

ミク姉ッ

俺もミク姉のこと
大好きだよッ…!

グチャッ
チャッ

アチュ

ギョッ

あゝ

レンくん
激しいねッ
♡

ハア

あゝ

あゝ

あゝ♡

ちゅっ
らっ
♡

ギョッ

あゝ

あゝ

ミク姉ごめんッ
もう 出そう…ッ

私も
もうすぐ
イクからねッ!

イって
いいんだよ
レンくんッ!!

出るッ 出るよ
ミク姉…ッ!!

いいよッ

ああんっ

あっ

ハッ

ハア

ハア

ハア

あん

あっ あ…っ

ハア

カキ

ヌチャ

ヌプ

オキユ

ブルンッ





ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

アッアッアッ

アッアッアッ

ああああ

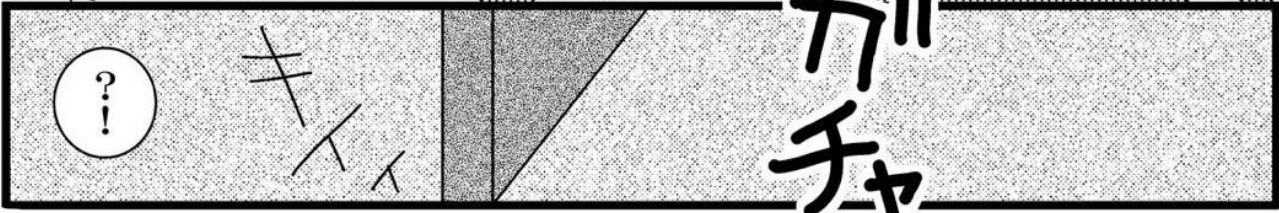
アッアッアッ



レンくん 元気出た？

うんうん

ちゅっ♡



ガチャ



マスター！？

ドキッ

そうかそうか
お前達は
そういう関係
だったのか



しょうがないな

また新しい
二人のデュエット曲を
作ってやるよ

マスターっ
それ本当ッ!?

マスターっ♪



えええッ!?

ハッピー
カーニ

マスター
大好きッ!

好きだからっ♡

～番外編～





マスターへの好きと
レンくんへの好きは



同じ言葉でも
全然形の違う
ものなんだよ

レンくんだって
マスターのこと
好きでしょ？

それは…

好きだけど…



うん
そうだねえ…



レンくんったら
すぐに
濡らすんだから
いっ

ハヤ
クチュ
クチュ

ミク姉…
俺早く
ミク姉とひとつに
なりたい…ツ

レンくん…

いっ
いっ
いっ
いっ
いっ

ミク姉ツ！

あ
あ
あ
あ
あ

レンくんツ

すげ
イイよおツ！

あ
あ
あ
あ
あ

☆こんにちは。

グリ高原の橘ミツキと申す者です。

この度は、『好きだからッ』をお手にしていただき、誠にありがとうございます。

☆今回の新作はミクレン本となっております。

レンミクと言えなくもないかもしれませんが、今回はミクレンと言い切りたいと思います。

☆今回は「それは甘い苺のような」「それは甘い苺のようでした」よりもエロ的に激しい感じにしてみたのですが…成功したのかどうか。

実際絵を描くのが苦手なので（ダメじゃん）なかなか表現が難しいのですよ。

自分の中でどれくらいの卑猥な絵が描けるのか…といった挑戦のようなものを感じながら描きました。

☆ミクレンとレンミクがありますが、私はどっちも好きだけど、どちらかというとミクレン派だったりします。

pixivではおねショタと言っているのかどうか微妙な歳の差と体格差ですが 何故かおねショタに分類されたりしますね。（タグが追加されたりするので）判断が難しいので、レンミクはおねショタではなくて、ミクレンはおねショタとういことにはしておきたいと思います。

☆レンちゃんとミクはもちろん両想いです。

この二人は両想いということのを他の皆も知っている設定ということにしてあります。

ただこういうコトをしている関係かどうかは知らない…かもしれませんね。

メイコねえさんあたりはミクとレンの関係を色々知っていきそうな気がします（笑）

ミクとレンの部屋のベッドの隅に、そつとゴムを置いていたりしてそう…という妄想です。

☆今回のレンくんはけっこうへたれな子になってしまいましたね。

描く度にミクもレンもキャラが変わったりするのはですよ…。

キャラが安定しないのです。

まあ描く内容によってキャラが多少なり変わったりするのはしょうがないかなーとも思っています。

☆出来はどうあれ、この作品を少しでも楽しんでいただけたのなら幸いです。

☆ここまでお付き合いくださり誠にありがとうございます！

それでは。

2013. 6 グリ高原/橘ミツキ



奥付

『好きだからッ』

発行日：2013年6月23日

発行者：グリ高原/橘ミツキ

Mail：gurikougen_k@yahoo.co.jp

http://blogs.yahoo.co.jp/gurikougen_k



※高校生を含む18歳未満の方の購読・閲覧を禁止します。

※禁 無断複製・無断転載

よろしくお願い致します。

GURIKOUGEN

Mitsuki Tachibana

